

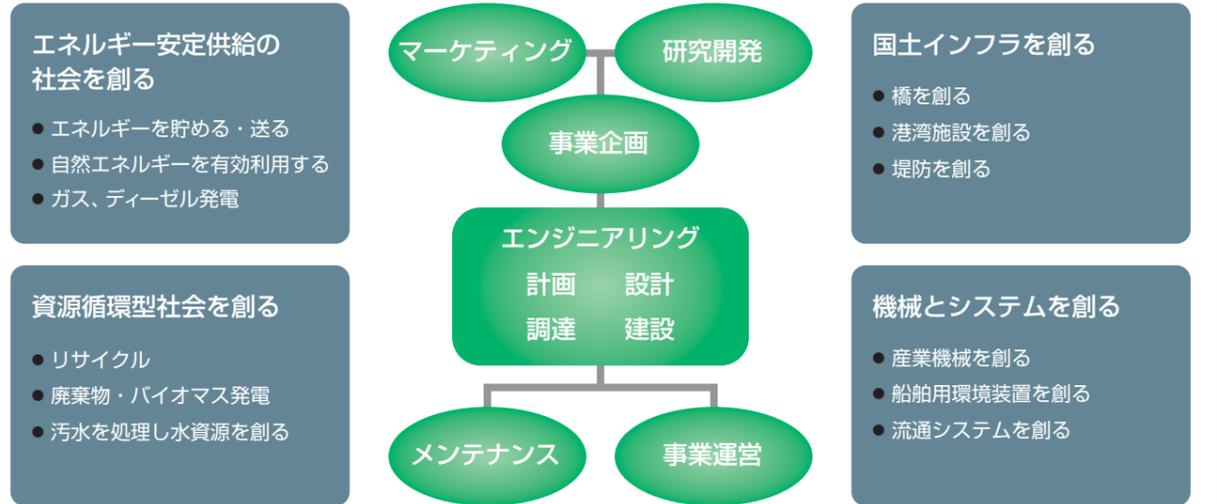


最先端技術力をベースとした商品・サービスの提供により、時代の変化に適応し、常に世界をリードするエンジニアリングカンパニーを目指します。

JFEエンジニアリングは、人々の生活と産業を支えるエンジニアリング事業を展開しています。天然ガス関連、廃棄物や下水汚泥をエネルギーとして利用する最新技術など豊富な実績を有しています。加えて近年では、バイオマス・太陽光・地熱などの再生可能エネルギーによる発電プラントも数多く手がけています。また、交通や物流、上下水などのインフラ建設においては、高品質の技術力を用いて、国内はもとより、世界各国の成長に大きく寄与しています。当社は「くらしの礎(もと)を創る」企業として、これからも絶えず、社会に最適解を提供してまいります。

代表取締役社長(CEO) 狩野 久宣

事業概要



エンジニアリング事業の概況と特徴

JFE エンジニアリング

提案から運営までの一貫ソリューション

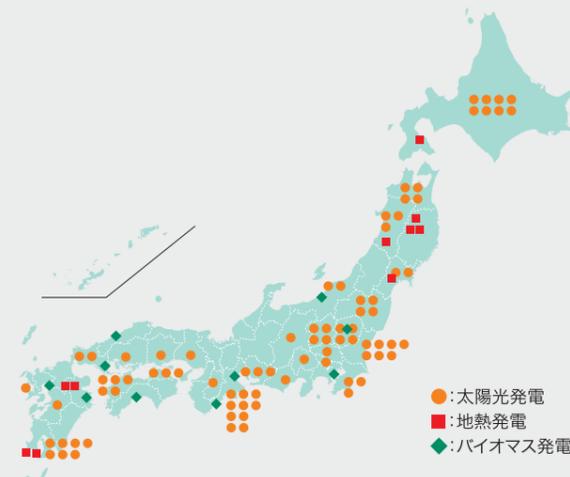
エンジニアリング企業に求められる役割は変わりつつあります。当社は建設主体の従来スタイルに加えて、提案から建設、運営まで一貫して関わるビジネスを推進しています。都市環境・アクアソリューション分野ではPFI (Private Finance Initiative) やDBO (Design Build Operate) 発注方式などの包括契約案件に積極的に取り組んでいます。



「長岡市生ごみバイオガス発電センター」 PFI事業として2013年度から当社が運営

ワンストップでの電力創生エンジニアリング

FIT (再生可能エネルギー固定価格買取制度) のもとで新しい電力の創生が期待されているバイオマス発電、太陽光発電、地熱発電などに幅広く取り組みます。事業化企画からプラントの設計建設、事業運営までワンストップのエンジニアリングサービスを展開し、収益基盤の強化・拡大に努めてまいります。



JFE エンジニアリングの再生可能エネルギー発電実績

現地化による海外事業の拡大

営業から設計、製作に至るまで一貫した現地化を積極的に推進しています。ドイツで環境・エネルギー分野のエンジニアリング事業を営むスタンダードケッセル・パワーシステムズHD社を買収するとともに、インド

ネシア、インドにおいてはM&Aにより営業・設計拠点の整備を行いました。保有する技術力をこれらの拠点に移管し、低コストで高品質のエンジニアリングサービスを推進し、海外事業の持続的成長を図ってまいります。

JFE エンジニアリング グローバル展開拠点



独スタンダードケッセル・パワーシステムズHD社買収

Highlights 2014

静岡市に太陽光発電所「三保ソーラーパワー」完工

旧清水製作所跡地に三保ソーラーパワーが完工しました。JFEグループは全国80カ所(約285MW)以上の太陽光発電所を建設し、うち8カ所(約40MW)は自社で運営しており、自然エネルギーによる電力供給を行っています。



富山新港LNG基地プラント受注

北陸電力初の天然ガス火力発電所に対応するLNG基地プラントです。国内最大級の容量18万klの地上式貯蔵タンクと気化設備、発電設備へのガス導管などを建設します。

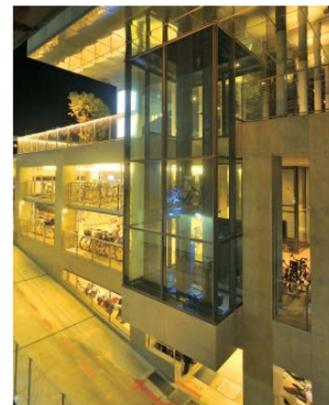


高岡広域エコ・クリーンセンター完工

新設された都市ごみ発電プラント施設は、高性能ストーカー炉「ハイパーZシリーズ」を採用することにより、設計・建設期間を短縮して約2年半で完工しました。



狩野社長が安倍総理のバン格拉デシュ訪問に同行
経済ミッションのメンバーとして、同国の政府関係者や経済人と意見交換を行いました。



サイクルツリー採用施設がグッドデザイン賞受賞

JR取手駅前に当社の機械式立体駐輪場が採用された「サイクルステーションとりで」が完工。機能と美しさが評価され受賞に至りました。



マレーシア産業廃棄物焼却プラント完工

ドイツ最大の廃棄物処理企業トリニケンス社とマレーシアサラワク州政府の合併会社から受注し、東マレーシアの病院や製油所などの産業廃棄物を処理します。



鬼高PAオランプ橋一括架設

首都高小松川線一之江～京葉道路原木IC間の鬼高PAオランプ橋。長さ60m、鋼重290tの大ブロックの架設を、深夜6時間の通行止めで完了させました。



南長岡ガス田設備増強を受注

天然ガスの精製・処理プラントに昇圧機などを設置することで、井戸元からの採取率を向上させます。可採埋蔵量は約2割増加、生産期間も約20年延長されます。



日本最大のコンテナクレーン完工

横浜港南本牧に完成したコンテナクレーンは世界最大級の大型コンテナ船に対応し、関東大震災クラスの地震にも耐える免震性能を有しています。



バイオマス発電を事業化

日本政策投資銀行ほか4社と共同で、株式会社グリーンエナジー津を設立し、津製作所構内でバイオマス燃料による発電事業を開始します。



ミャンマー鋼構造物製作工場がフル操業

2014年4月に操業を開始したJ&Mスチールソリューションズの初年度受注高は、年間生産能力の1万tに達し、設備増設が決定しました。



各地の都市環境プラントの遠隔支援を開始

横浜本社にリモートサービスセンターを開設し、「JFEハイパーリモート」システムにより、全国の都市環境プラントの運転、発電などの状況が24時間体制で集中管理可能になりました。



東南アジア大学生のインターンシップ

2013年度から開始し、2014年度は4カ国計20名を受入れました。各国の発展において欠かせないプロジェクトリーダーとなる人材を育成しています。



2014年4月

- 狩野久宣社長就任
- 沖縄支店開設
- 石狩LNG基地プラントとパイプラインを同時受注
- 電力小売事業に参入、アーバンエナジー株式会社設立
- 富山新港LNG基地プラント受注

5月

- 磯村豊水機工と上水プラント事業統合
- JE1最優秀チームがQCサークル全国大会で感動賞受賞

6月

- 福島復興再生支店開設
- スマートアグリ事業でオランダPriva社と協業
- オンリーワン技術3件、日本ガス協会技術賞受賞
- 沖縄初の天然ガスパイプライン完工

7月

- インドネシアとインドにエンジニアリングセンター新設
- ミャンマー鋼構造物製作工場がフル操業
- 九州北部幹線西側区間建設を受注
- 大島・地島(福岡県)の簡易水道施設更新受注
- シェゴンドライン高架橋建設プロジェクトがエンジニアリング協会功労者賞、ハイブリッド防潮堤が同奨励特別賞を受賞
- 東南アジア大学生のインターンシップ

8月

- Shape up 20プロジェクトチーム設置
- iPad miniを搭載した防塵タブレット「LANEX-Tablet」を開発・販売開始
- 苫小牧市で第1号スマートアグリプラント始動
- ミャンマー ヤンゴン市のミニコン鋼製高架橋受注
- 大分県佐伯市で50MWのパイオマス発電プラントを受注

9月

- 狩野社長が安倍総理のバン格拉デシュ訪問に同行
- 各地の都市環境プラントの遠隔支援を開始
- 業務改革推進チーム設置
- バイオマス発電を事業化
- 南長岡ガス田設備増強を受注
- 高岡広域エコ・クリーンセンター完工

10月

- 静岡市に太陽光発電所「三保ソーラーパワー」完工
- 苫小牧市のスマートアグリプラントでトマトの出荷開始
- 指宿地熱バイナリー発電完工
- サイクルツリー採用施設がグッドデザイン賞受賞

11月

- 日印大型プロジェクトのデリームパイ管貨物専用鉄道の橋梁建設を受注
- 東名自動車道四日市ジャンクション一括架設
- マレーシア 産業廃棄物焼却プラント完工
- 当社代表が2年連続で全日本ボイラー溶接士コンクール優勝

12月

- 東京本社を拡張し営業部署を集約
- ドイツ スタンダードケッセル・パワーシステムズHD社の株式取得完了
- 国内初の複合バイオマス発電PFI事業を受注
- 川崎北部市場のリノベーションを完了
- ハノイ国際空港新ターミナルのジェット燃料供給設備を完工

2015年1月

- 苫小牧市のスマートアグリプラントを拡張
- JFEパラストエースのアフターサービス体制を拡大
- フィリピン バリヤニャーク下水処理施設を受注
- 伊良部大橋完工

2月

- スリランカ キャンディ市の下水処理施設を受注
- 日本初の廃棄物発電を活用した「エネルギー循環型ごみ収集システムの実証試験」の検討
- 最先端のがん診断薬の実用に向けた協業開始
- J&Mスチールソリューションズ工場設備拡張を決定
- 日本最大のコンテナクレーン完工
- 福島県の災害廃棄物処理がスタート
- 鬼高パーキングエリアオランプ橋一括架設

3月

- 福島県のゴルフ場跡地に26.2MWのメガソーラー完工